

麻ひもコースターづくり

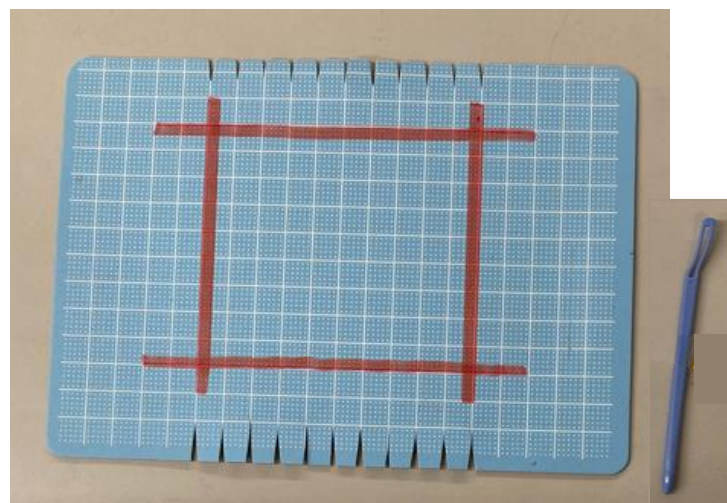
作品見本



活動のねらい

- ①縄文時代からある世界最古の繊維「麻」を使うことで自然の恩恵、偉大さに気付く。
- ②物を作りあげる楽しさを体験することで、物を大切に作る心を育む。
- ③SDGSの観点から、自然の保護や脱プラスチックについて考える。

セット内容（自然の家が提供するもの）



- 土台マット
 - あみ棒
- 1人1つつ**



- ☆麻ひも（茶色）
 - ☆カラー麻ひも（2色）
 - ☆はさみ
 - ☆セロハンテープ
- 8人で1セット**

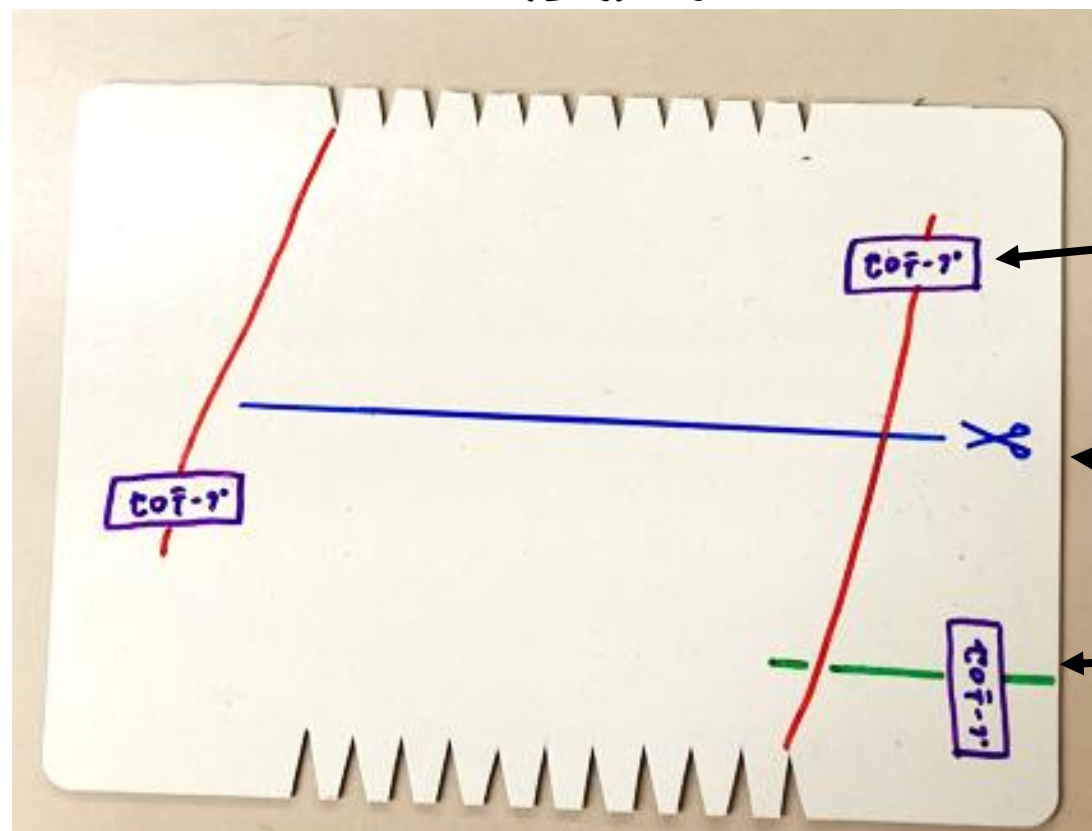
<備考>

- 麻ひも（茶色）はたて糸用、カラー麻ひもは横糸にあたります。
- カラー麻ひもは1班に2色お渡しし好きな方を選択できます。カラーの指定や統一はできません。

団地で準備するもの

- 新聞紙やブルーシート（糸くずの片付けが楽になります。）

<土台マット（裏）拡大図>



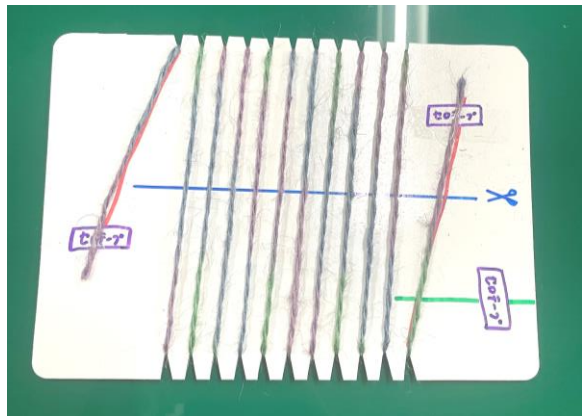
●麻ひも（茶）のテープ位置

●ハサミライン

●カラー麻ひものテープ位置

作成手順

①土台マット（裏）の表示通りに麻ひも（茶）でたて糸をはり、両端をテープで止める。

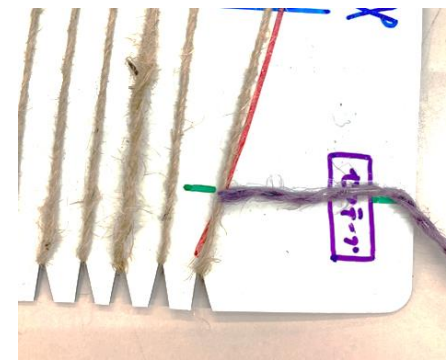


②好きなカラー麻ひもを選び、大人3ひろ、子ども4ひろの長さで切る。

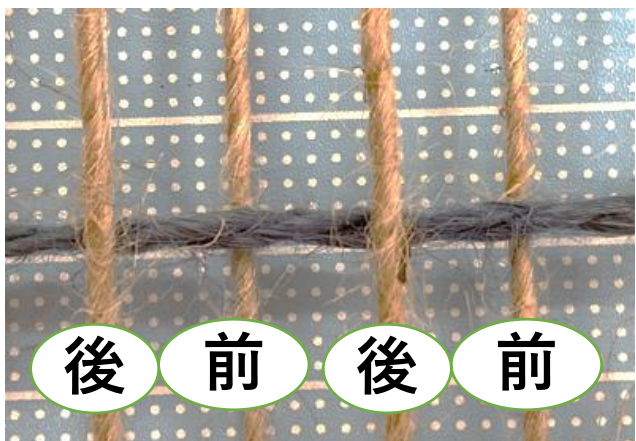


※「ひろ」...両手を広げた長さ

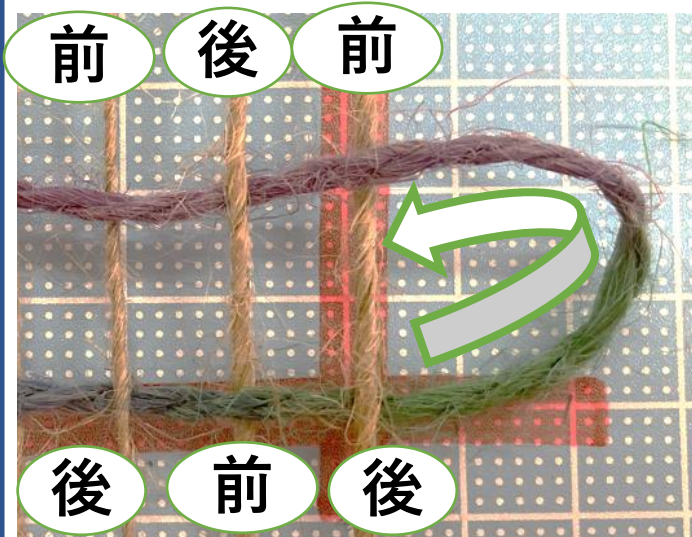
③あみ棒にカラー麻ひもを通し、土台マット（裏）にひもの片方をテープで止める。



④たて糸に対してカラー麻ひもが前後交互になるように編んでいく。

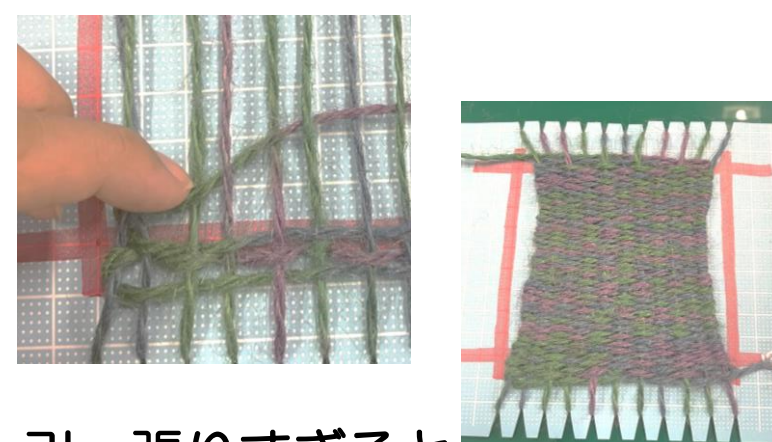


⑤折り返し部分でも、前後が交互になるようにする。



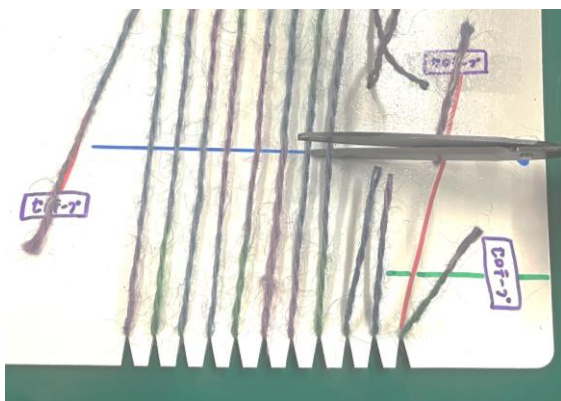
<ポイント>

あみ棒や指で横糸を整えながら作ります。



引っ張りすぎると形が変わるので注意!

⑥最後まで編み終わったらテープ3か所は外し、土台マット（裏）のハサミラインで切る。



⑦たて糸を2本ずつ取り、コースターの根元で玉むすびにしていく。



横糸のカラー麻ひもがある部分は3本で結ぶ。



⑧結んだひもの余った部分を好きな長さで切ってそろえる。



⑨そうじ・片付けをする。



<完成> 大切に使ってね

